

平成28年度 関西佐賀県人会「集ろう！佐賀んもん」 【特別講演会・第65回総会・ふるさと交流会】 大阪「太閤園」に370人が集う



第I部 特別講演 要旨

「会社経営のこと、故郷佐賀のこと」

東洋紡株式会社相談役



津村 準二様
(佐賀市川副町出身)

私が生まれ育ったのは佐賀郡早津江(現佐賀市)で、18歳の高校卒業までを過ごしました。早津江は、有明海まで数キロの早津江川(筑後川)下流の右岸に沿った小さな町です。早津江には最近世界遺産に登録されて有名になった三重津海軍所跡があります。三重津海軍所は司馬遼太郎の短編小説「アームストロング砲」で鍋島閑叟がつくった壮大な海軍所として紹介されています。早津江出身の有名人では日本赤十字社をつくった佐野常民がいます。子供の頃には、町の真ん中に石柵で囲まれた常民の石碑があってよじ登って遊ん

だりしましたが、今は三重津海軍所跡のすぐ傍に立派な記念館がつくられています。もう一人、プロ野球選手の田中久寿夫というスラッガーが、私の小学校時代の級友です。佐賀工業、東洋高圧、西鉄ライオンズを経て、巨人軍の王・長嶋の後を打つ5番バッターとして活躍しました。

私は、昭和16年4月に中川副国民学校1年生になりました。1年生から4年生夏休みまでが太平洋戦争と重なります。この4年間の経験は、空前絶後のものでした。これは私と同世代以上の人達だけが共有する貴重な経験です。当時を振り返る目玉項目として、奉安殿、宮城遥拝、教育勅語、麦踏み、いなご獲り、松脂採取などが挙げられます。

中学は、水ヶ江にある龍谷中学に入学しました。龍谷中学は西本願寺派の男子校で、生徒は、佐賀市以外の各地(小城、多久、相知、牛津、白石、大川)から集まり、早津江の田舎しか知らなかった私には、急に世界が広がったみたいで大きな刺激になりました。先生の中には予科練帰りや海兵上がりもおられ、ちょっと悪さをすれば容赦なく拳骨やビンタが飛んできました。